

岩手大学研修Ⅱを実施

11月19日アドバンスド・ラボラトリ岩手大学研修Ⅱを実施しました。これまでの大学研修では2年生の理数科が参加の中心でしたが、今回実施した「岩手大学研修」はSSHの活動を普通科に広げ、大学での先進的な学びを多くの生徒が経験し、学問や高校卒業後の進路に対する理解を深めることを目的の一つとしています。情報科学、化学、生命科学、人文社会科学の4分野の研修を実施し、文系の生徒9名も含め1・2年生が37名参加しました。



人文社会科学科「コンビニの分布を考える」

参加した生徒からは「研修内容が自分の目指す進路そのもので、とても有意義な研修だった。これから進路実現に向けて頑張りたいと強く思った。」「コース選択で文系にいかうかどうしようか迷っていたが、研修を通して実験の楽しさを感じることができた。理系で頑張ろうと思った。」などの感想が寄せられました。

① 情報科学分野 岩手大学理工学部システム創成工学科 中谷直司 先生

テーマ	「コンピュータプログラミング」
研修内容	Googleが提供するビジュアルプログラミング言語「Google Blockly」を使い、パズルのようにブロックを組み合わせて、プログラミングの基礎を学んだ。また、「JavaScript」についても理解を深めプログラミングの楽しさを感じた。

② 化学分野 岩手大学理工学部化学・生命理工学科 是永敏伸 先生

テーマ	「グリニャール反応」
研修内容	実験の安全について映像を視聴して学習した。炭素原子どうしをつなぐグリニャール試薬による有機合成を行い、生成物を分離精製してNMRで同定した。ノーベル賞を受賞した有名な反応を通して、高校3年生で学習する有機化学について学ぶ貴重な機会となった。

③ 生命科学分野 岩手大学農学部動物科学科 澤井健 先生

テーマ	「新しい生命をつくる -家畜の体外受精に挑戦しよう-」
研修内容	クイズを交えて家畜繁殖の現状やその技術について説明を受け、卵や精子の特徴、体外受精の方法を学んだ。ブタの体外受精に挑み、受精卵と胚を観察した。生命誕生の様子を目の当たりにし、命の大切さを学ぶかけがえのない体験となった。

④ 人文社会科学分野 岩手大学人文社会科学部 人間文化課程 高橋宏一 先生

テーマ	「コンビニの分布を考える」
研修内容	都市におけるコンビニの分布パターンについて推察し、思考実験の結果と奥州市での実際の分布を比較して地図上に示す活動を行った。地理学を通して人文社会科学的なものの見方を学び、科学的な考え方に触れる有意義な研修となった。

今回の岩手大学研修Ⅱで平成28年度の大学研修は終了しました。平成28年度は岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学で延べ5日間、合計15講座を実施しました。参加者は合計118名となりました。実施した大学での最先端の研究を通して、高校での学習に対する意欲を高め、進路実現に向けて努力し、目標達成につながることを期待しています。